

町政懇談会の記録

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
1 西古泉	R7. 11. 2	02道路・交通・建物	開発許可の権限移譲	10月から開発許可の権限移譲があったと思うが、どういう経緯があつたのか。 また、西古泉は商工区域として発展したが、明るい道路で暴走族のようなバイクが走ったりして、騒音もひどいがどう考えているか。	まちづくり課	開発許可については、以前より町民の皆様から審査に時間がかかるとの声が多く寄せられました。 そこで、これまで県が行っていた開発許可事務について、県から町に権限を移譲することで、町内でワンストップで審査と許可を実施できるようになりました。これにより、手続きの迅速化と町民の利便性向上を目指しています。 また、御指摘のありました西古泉筒井線（恋泉通り）は、大型商業施設周辺道路の渋滞対策として整備した道路であり、自動車交通を集約させることを目的としていますが、バイクの暴走行為については、警察との連携を強化し、取り締まりの要望をしてまいりたいと思います。
2 西古泉	R7. 11. 2	11文化・歴史	義農作兵衛生誕300年	2032年の義農作兵衛生誕300年がもうすぐである。終焉の地と結び付けたり、何か考えはあるか。	総務課	貴重な御意見をありがとうございます。 検討はしているところではありますが、現時点では具体的な計画はありません。今後、方向性等がまとまつたらお伝えさせていただきます。
3 西古泉	R7. 11. 2	02道路・交通・建物	アリーナ建設場所	アリーナはどの場所に建てる予定でしょうか。	財政課	アリーナについては、町が建設・運営するのではなく民間による建設・運営を基本としておりますので、場所がどこになるか分かりませんが、その際に開発や土地の収用でお手伝いできるところがあれば手伝おうと考えています。 なお、スポーツセンターインメント構想として、まずはアーバンスポーツパークの整備から検討を進めたいと考えていますが、こちらも今後検討会の中で場所、種目、運営方法などを検討していくこととなります。
4 西古泉	R7. 11. 2	02道路・交通・建物	道路、橋の整備	大型商業施設ができるから、土日の道路事情はひどく、住民も外に出たくても出れない、帰ってくるのも相当時間がかかる状態です。	まちづくり課	国道56号の渋滞につきましては、大型商業施設の開業以降、週末や連休を中心に交通が集中し、周辺住民の皆さんに多大な影響が生じていることは、町としても重大な問題と認識しています。 これまで町では、「愛媛県渋滞対策協議会」におきまして、当該区間が要対策箇所に位置付けられていることを踏まえ、国・県と連携して対策を進めており、国においては、右折レーンの延伸や案内標識表示の追加、町においては、西古泉筒井線の整備などを実行してきましたが、週末等には依然として渋滞が発生しており、抜本的な解消には至っておりません。 渋滞の要因は、商業施設への来客に加え、松山方面との広域的な交通も関係しており、「松山との間で橋がもう一つ必要ではないか」といった点も含め、広域的な道路ネットワークの在り方として、国や県と検討していくべき課題と認識しています。 引き続き「愛媛県渋滞対策協議会」にて情報共有を図りながら、効果的な対策を検討してまいります。
5 西古泉	R7. 11. 2	02道路・交通・建物	街灯、道路舗装	ウォーキングしている高齢者方も多いが、街灯が少ない。アスファルトが傷んでいるところも多々あるので気にしてほしい。	まちづくり課	【防犯灯について】 現在、町内の防犯灯は「地域主体の安全活動」として、地域の皆さまからの御要望をもとに設置しております、設置および修繕費用は町が負担し、電気代は各自治会に御負担いただいております。 そのため、新たな防犯灯の設置を希望される場合は、まずは地域の区長さんを通じて御相談ください。町としても、地域の皆様と連携しながら、安全で安心して通行できる環境づくりに努めてまいります。 【舗装について】 舗装補修の要望については、毎年区長さんから土木事業の要望をとりまとめていただいており、他の要望箇所との比較の中で優先順位をつけて進めているところです。 町としては、できる限り地域の要望に応えられるよう努めてまいりますので、御理解をお願いいたします。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
6 西古泉	R7.11.2	02道路・交通・建物	ブロック塀補助	家のブロック塀が傷んでいる人も多いのでは。補助を検討してみてはどうか。	まちづくり課	御指摘のありました傷んだブロック塀については、地震によりブロック塀等が倒壊した際、死者が出るおそれだけでなく、避難や救助・消火活動に支障が出る可能性があります。そのような事態を防ぐため、令和元年度から、道路に面したブロック塀等の安全対策工事の費用を補助する制度を設けていますので、ぜひお気軽にまちづくり課まで御相談ください。
7 西古泉	R7.11.2	02道路・交通・建物	道路舗装	町道西48号線道路について、水たまりができるような道路補修を実施いただき、同時に通過車両による振動の防止対策をお願いしたい。 2025年春に最も深い陥没部は補修済みであるが、そのほかの陥没部が列状にあり、重量車両が通ると振動が伝わる。	まちづくり課	舗装補修の要望については、毎年区長さんから土木事業の要望をとりまとめていただいており、他の要望箇所との比較の中で優先順位をつけて進めているところです。 町としては、できる限り地域の要望に応えられるよう努めてまいりますので、御理解をお願いいたします。
8 西古泉	R7.11.2	12その他	採水補償	東レ採水補償金については、昭和31年に契約し、平成元年から補償金の見直しはない。補償金額についても増額の見直しをされる予定はないでしょうか。	産業課	昨年の町政懇談会後、東レの総務課に地域からいただいた御意見として伝えておりますが、進展がないので、再度話し合いの場を持ちたいと思います。
9 西古泉	R7.11.2	04環境	農業組合による河川清掃	西古泉農業生産組合が毎年実施している福德泉公園内河川から神寄川までの清掃について、農業従事者の減少、高年齢化により負担が大きくなっている。 いつかは対応ができなくなるため、町や県での対応策の検討や相談にのっていただくことをお願いしたい。	まちづくり課 産業課	日頃から、農業用水路の維持管理に御尽力いただきありがとうございます。 農業用水路の維持管理につきましては、受益者である農業区が主体となって実施されています。 これまで農家の皆様が中心となって、水路の草刈りや泥上げなどの維持管理作業を行ってこられましたが、近年の農業従事者の減少や高齢化により、従来の方法だけでは水路の維持管理を継続していくことが難しくなってきているのが現状です。 町としても、このような状況を踏まえ、農業区を主体とするということを基本としつつ、二級河川等における負担の大きい作業や転落の危険性を伴う箇所につきましては、作業負担の軽減や安全の確保について、どのような支援や工夫が可能か、関係者の皆様のお声を伺いながら、より良い方法を検討していきたいと考えておりますので、御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。
10 西古泉	R7.11.2	04環境	大井手川西側河川敷清掃	大井手川西側河川敷は、かなりの草と木が茂っている。県所掌と聞いているので、町から県へ、草木の伐採の実施依頼をお願いしたい。	まちづくり課	御指摘のありました県管理河川の堤防除草については、地元から要望があることを県に伝え、除草を実施してもらうよう要望してまいります。
11 西古泉	R7.11.2	06学校	防犯カメラ増設	各学校について、誰が入ってくるかもわからないので、防犯カメラの増設をお願いしたい。	学校教育課	学校の防犯カメラは、外部からの来訪者の確認や犯罪企図者の侵入防止、犯意の抑制を目的として、各学校からの要望や建物の配置状況を踏まえて設置しております。 設置数は、北伊予小学校3台、岡田小学校1台、松前小学校3台、北伊予中学校2台、岡田中学校0台、松前中学校4台です。 今後も、安全対策上の必要性を考慮の上、学校の意見も伺ながら、設置について検討してまいります。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨
						(※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
12 西古泉	R7.11.2	04環境	市街化調整区域の変更	市街化調整区域で田んぼ持たれている人から、調整区域を外せないかという声はある。どう考えているか。	まちづくり課	町は、行政区域全域が都市計画区域に指定されており、市街化を図る「市街化区域」と農地や自然環境を保全するため市街化を抑制する「市街化調整区域」に区分するいわゆる「線引き」が行われています。 「線引き」の見直しは、松山広域（3市2町）の人口動向や土地利用の需要、都市計画施設の整備状況など、広域的な観点から総合的に検討する必要があります。そのため、町単独の考えで変更できるものではなく、県をはじめ関係機関との協議や都市計画審議会での審議を経て、県が都市計画決定を行います。 現時点では、「線引き」の見直しの予定はありませんが、社会情勢の変化により、「線引き」を見直す必要が生じた場合には、適切に検討されるものと考えておりますので、御理解をいただきますよう、お願ひいたします。
13 西古泉	R7.11.2	02道路・交通・建物	横断歩道の設置	ラウンドアバウトから北へ抜ける道について、横断歩道が1か所しかないため、横断するときに危険なときがある。	危機管理課	横断歩道や道路標示などの設置は、公安委員会（警察）の所管となります。頂いた御意見を踏まえ、該当路線（町道西古泉筒井線）の状況や利用実態を整理した上で、関係機関に安全対策の要望を伝え、改善に向けた協議を行ってまいります。 引き続き、皆様とともに、地域の安全確保に向けて取り組んでまいりたいと思いますので、御理解と御協力をお願ひいたします。